

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | Familyいっぼ白山教室 | | 公表日 | | 2026年 1月 31日 | |
|---------|---------------|---|-----|---------|---|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 8 | 1 | お子さんたちが、成長してきて、スペースが狭くなってきているように感じる。 | 収納等を見直し、スペース確保するようにしていきます。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | 4 | 個別サポートに対して少ない。 子どもが落ち着いている時は問題ないが、トラブル時に現状のスタッフの人数では足りない状況になる。常に一人プラスのスタッフ配置があるとよい。 特に個別で関わる必要のある子どもがいる場合、もう一人職員がいた方が2階の利用など柔軟に対応できる。 | 手厚いスタッフ配置をしているため、まずは、スタッフ配置の再検討を実施し、職員間の役割分担や声掛けにより、トラブル時に個別対応できるようにしていきます。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 9 | | バリアフリー化されていないように感じる。 | 危険箇所を見つけたらすぐ改善するようにしていきます。 おもちゃや掲示物により視覚刺激が多くなりがちであるため、集中できる環境が作れるよう整理していきます。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 2 | 子どもたちの動きによりマットが動き、マットの下にゴミが溜まる。 においが気になることがある。 | 保温、衝撃緩和のためにマットは必要であるため、清潔に保つことができるように対策をしていきます。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | 2 | 2階にあるため、階段に気を遣っている。子どもにとっては効果的に活用されていると思うが、ある子どもにとっては特別な場所になっている。職員の配置状況によってかなり使用が難しいときがある。 | 必要な際には、個別対応ができるようにスタッフ間の役割分担や、連携を見直して対応していきます。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 7 | 2 | 職員の勤務形態もあり、日々のミーティングが少ない。 振り返りに参加できていない。 | 顔を合わせたミーティングは難しいが、業務前の情報共有はシートを利用して行っています。業務中は適宜情報共有をしています。業務後の振り返りは業務前と同じシートに書き込み、回覧することで情報共有を行っております。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | | 保護者迎え時に話し合い、カンファレンス等で共有している。 | 今後も定期的に評価表の実施をしていきます。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 9 | | 常に耳を傾け、安心・安全であれば実行に移している。 ミーティング。 | 今後も継続して、職員の意見交換を行い、業務改善につなげていきます。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 3 | 2 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 9 | | なかなか参加できないことがあるので残念と感じる。 | 毎月研修機会を設けています。参加できない職員にも研修内容を共有しています。 |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 9 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 9 | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 9 | | 職員の意見等を計画書に反映させている。 | 今後もアセスメント会議を行い、多職種の意見を反映させて計画立案していきたいと考えております。 |

| | | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|--|--|--|
| 適切な支援の提供 | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 9 | | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 9 | | ケース記録、モニタリング表、アセスメントを実施している。 いろいろな場面での子ども達の様子を見て作成している。 | 今後も継続してアセスメントを実施していきます。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 9 | | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 8 | 1 | 担当者が一人で考えているので、話し合えると負担が少ないと思う。 | 担当者が考えた企画を伝達し、当日のスタッフで協力、運営しています。新しい内容が多いですが、子どもたちが喜んだプログラムや季節のプログラムはストックしていき、いつでも行えるようにしていております。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 9 | | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 9 | | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | 3 | その日ご利用のお子さんの配慮すべき事項が書かれた表を用意し、各職員が必ず確認するようにしている。 出勤・退勤時間の都合で難しい時がある。 職員全体での打ち合わせをできない時の方が多いが、必要なことは伝達し合っている。 | 利用者様についての情報を業務前に確認することで、スタッフ全員で共通認識をもって関わることができています。勤務形態が異なるため、毎日ミーティングを実施することは難しいが、書面と声掛けで連携している。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 3 | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 8 | | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 9 | | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 | 8 | | 地域交流の機会の提供が少ない。 | | 今後、増やしていけるように計画していきます。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 8 | | | | |
| | 関係 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | | | |
| | | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | 2 | | |
| | | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 8 | 1 | 学校側が非協力的な部分がある。市として動いてほしい。 | 学校による対応の違いなどのため、情報共有が難しいことがあります。できるだけ密に連絡をとっていきます。 |
| 29 | | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 6 | 2 | 必要であれば行う。 | 必要と思われるお子さんについては、職員からも保護者さんへ提案させていただきます。 | |

| | | | | | | |
|--|----|--|---|---|--|--|
| 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 3 | | 該当者がまだいないが、必要であれば行う。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 3 | 2 | 研修等へは参加している。 | 研修等への参加を通じ、関係性を深め、必要時にアドバイスいただける関係を築いています。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。 | | 5 | | |
| | 33 | (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 | | 3 | | |
| | 34 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 8 | 1 | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 6 | 1 | 回数が少ない。 | ご家族が参加していただけるお話し、講座の機会はあるが不定期開催であり、参加が難しい方もいらっしゃるため、できるだけ多くの機会をご提供できるよう工夫していきます。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 8 | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 8 | | | 必要に応じて、個別相談の機会を持つなど、保護者様の意向とこちらの考えをすり合わせる機会をもてるようにしていきます。 |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 7 | 1 | 示してはいるが、分からない所や間違っている所があれば、聞いていただくようお願いしている。 | 必要時には計画を示しながら、よりご家族様の考えと事業所の考えをすり合わせていけるようにしていきます。 |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 8 | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 3 | 3 | | |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 8 | | 対応がズレているといけないので、相談するようにしている。 | 職員間でも共有、話し合いをし、誠実な対応ができるようにしています。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | | | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 9 | | | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 8 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 1 | 4 | 子ども食堂を通して、時間の確保が困難と感じる。 | 地域との関わりは子どもたちを見守っていただく上で必要だと考えるため、機会を作ることができるよう検討していきます。 |
| | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 9 | | 完全には周知されていない。子ども達が理解・実践できないと思われることがある。 | 詳細のところまでは、頭に入っていない職員もいるため、定期的にマニュアルの確認をしています。お子さんが理解できるよう、防災訓練などを通じて伝えていく。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--------------------------------------|--|
| 非常時等の対応 | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 9 | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 8 | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | 2 | 全部は理解できていない。 | アレルギーについてはご家族から情報を得て事故のないようにしております。また、必要時に医師の指示書を依頼する予定です。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | 1 | 一部のみ。 設備が整っていないため困難であることがある。 | 今後、安全計画を適宜見直し、安全管理できるようにしていく。 |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | 1 | 一部のみ。 設備が整っていないため困難であることがある。 | 適宜、安全計画を見直すとともに、ご家族との連携をとっていきます。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 8 | | ヒヤリハットを読むところまでとなり、方策の検討はできていないことがある。 | ヒヤリハットについて、収集したあとのように分析し、活かしていくかを検討しています。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 8 | | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | | | |